

学校評価だより



～最終自己評価～

令和2年2月 発行

珠洲市立宝立小中学校

令和元年度最終期の学校評価として、生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。2学期にとりましたアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を含めて、今後の取組についてお知らせ致します。

今後の取組を進めるにあたっては、ご家庭のご協力をお願いしなければならないものもございます。何卒、本校の教育活動をご理解の上、ご協力をお願い致します。

本校の教育目標 ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す生徒像 ◇確かな学力を身に付けた子(知育) ◇思いやりのある心豊かな子(徳育) ◇健康・安全を育み守る子(体育・食育)

本年度重点項目

(1) 楽しく学び、確かな学力を身につけた子の育成 (2) 思いやりのある、豊かな心をもった子の育成 (3) たくましい体力と気力をもった子の育成 (4) ふるさとを愛する心をもった子の育成 (5) 教育公務員としてのプロ意識をもち、信頼される教師集団をめざす

(1) 楽しく学び、確かな学力を身につけた子の育成

▲前回同様、地域の教材・G Tの活用があまりなされておらず、C評価となりました。
○生徒アンケート「学校が楽しい」で中期ブロックにおいてC→A評価に上昇しました。
○保護者アンケート「本校教職員は授業が分かりやすいように工夫している」はどのブロックも前回同様A評価でした。

《改善策》

- ◇道徳・学活・総合的な学習の時間（特にふるさと珠洲科）に積極的に地域の教材・G Tを活用する機会を設けたい。また、学校便りや学級通信を利用して、実施内容や成果をPRしていこうと考えています。
- ◇「学校が楽しい」と答えなかった原因（学習面・生活面）を個別面談等で究明し、その改善策を考えていきます。
- ◇「授業が分かりやすいように工夫している」はどのブロックも前回同様A評価ですが、現状に甘んじることなく、校内研修や参観授業を通して、授業力向上に努めていきます。



(2) 思いやりのある、豊かな心をもった子の育成

○困っている友達を助けることができるという評価が、後期ブロックで上がりました。
○いじめ対応については保護者の評価が上がりました。

《改善策》

- ◇困っている友達を助けることができるという児童生徒の評価が上がったのは、文化祭などの取り組みを通して、協力できたのがよかったと考えられます。この点に注目しながら来年度も行っていきます。
- ◇学校のいじめ対応に対する保護者の評価は上がりましたが、「教職員は児童生徒を理解しようとしている」という項目が下がりました。児童生徒の気持ちをよく受け止めながら、保護者との連絡を密にしていかなければいけません。



(3) たくましい体力と気力をもった子の育成

▲メディア機器の使用や学習を含む生活習慣に関する項目は、中期・後期ブロックで評価が低かったです。特に児童生徒評価の「9時以降、インターネットに接続できる機器を保護者に預ける」の項目は、BもしくはC評価と全学年で低く、保護者アンケートでも中・後期ブロックでは「9時以降はゲームをしない」の項目がC評価でした。

《改善策》

- ◇生活リズムを整えるためにも、PCやインターネットに接続できる機器の使用の仕方や危険性について、身近な例をもとに指導していきます。また、健康に関する具体的な質問を加えることも、来年度検討します。



(4) ふるさとを愛する心をもった子の育成

▲教職員アンケートにおいて、「地域の教材を活用した授業やG Tを活用した授業を効果的に取り入れている」という項目に関して、C評価のまま向上することができませんでした。
▲保護者に関して、学校の指導内容などを伝えてはいますが、声を丁寧に受け止められていないと感じているようです。

《改善策》

- ◇「ふるさと珠洲科」に向けて、地域教材やG Tを活用した授業は行っていますが、普段の授業の中での活用が十分でないと感じています。ふりかえりを生かして来年度につなげたいと思います。
- ◇連絡体制は良くなっていますが、対応が十分でなかったり、遅かったり、改善がなかなか見られないと感じられているようです。意識して指導に当たっていきたいと思います。



(5) 教育公務員としてのプロ意識をもち、信頼される教師集団をめざす

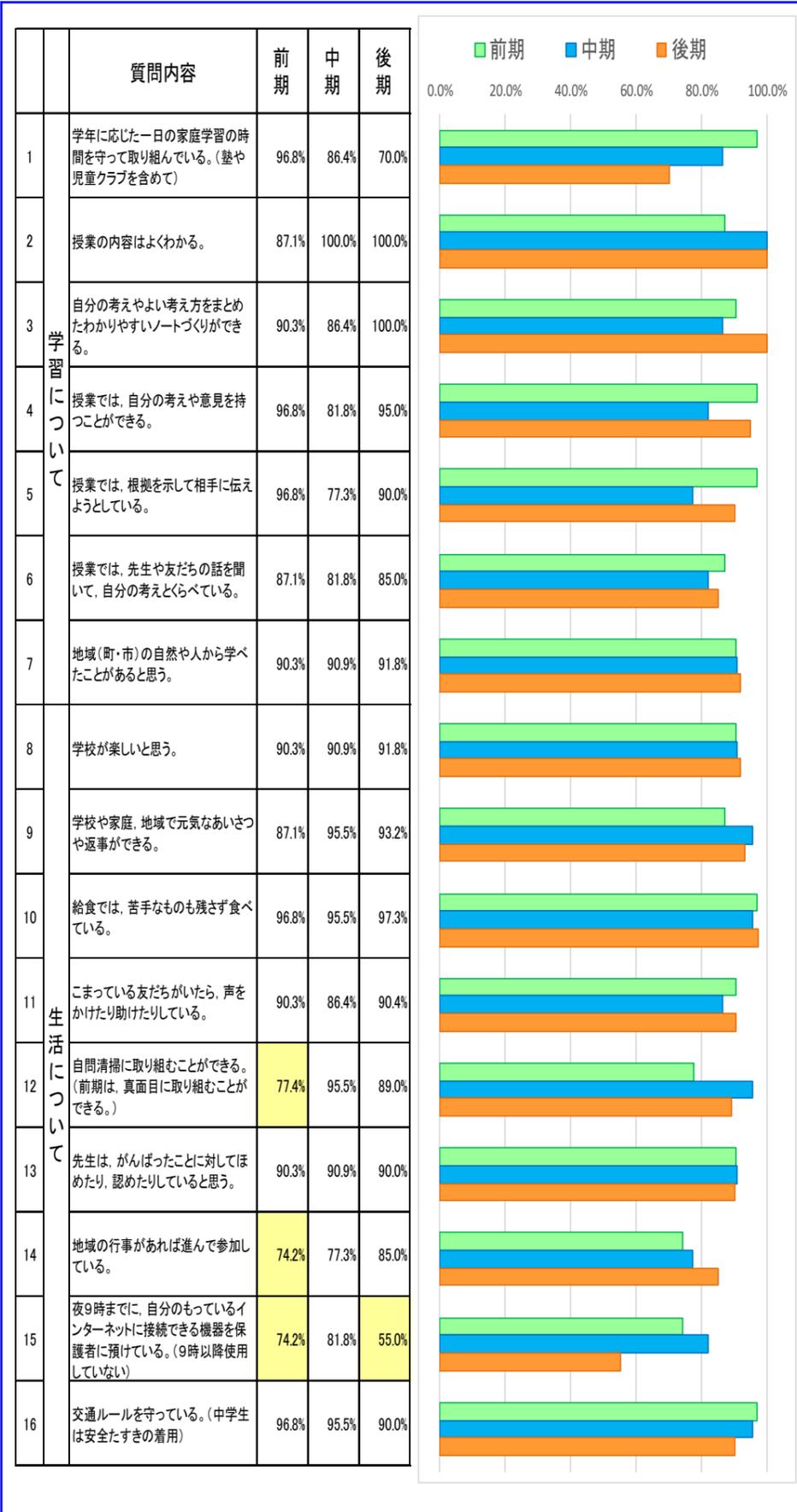
○教職員に関して評価は変わっていませんでしたが、児童生徒中期の「がんばったことに対してほめたり、認めたりしていると思う」という項目で、A評価に上がりました。

《改善策》

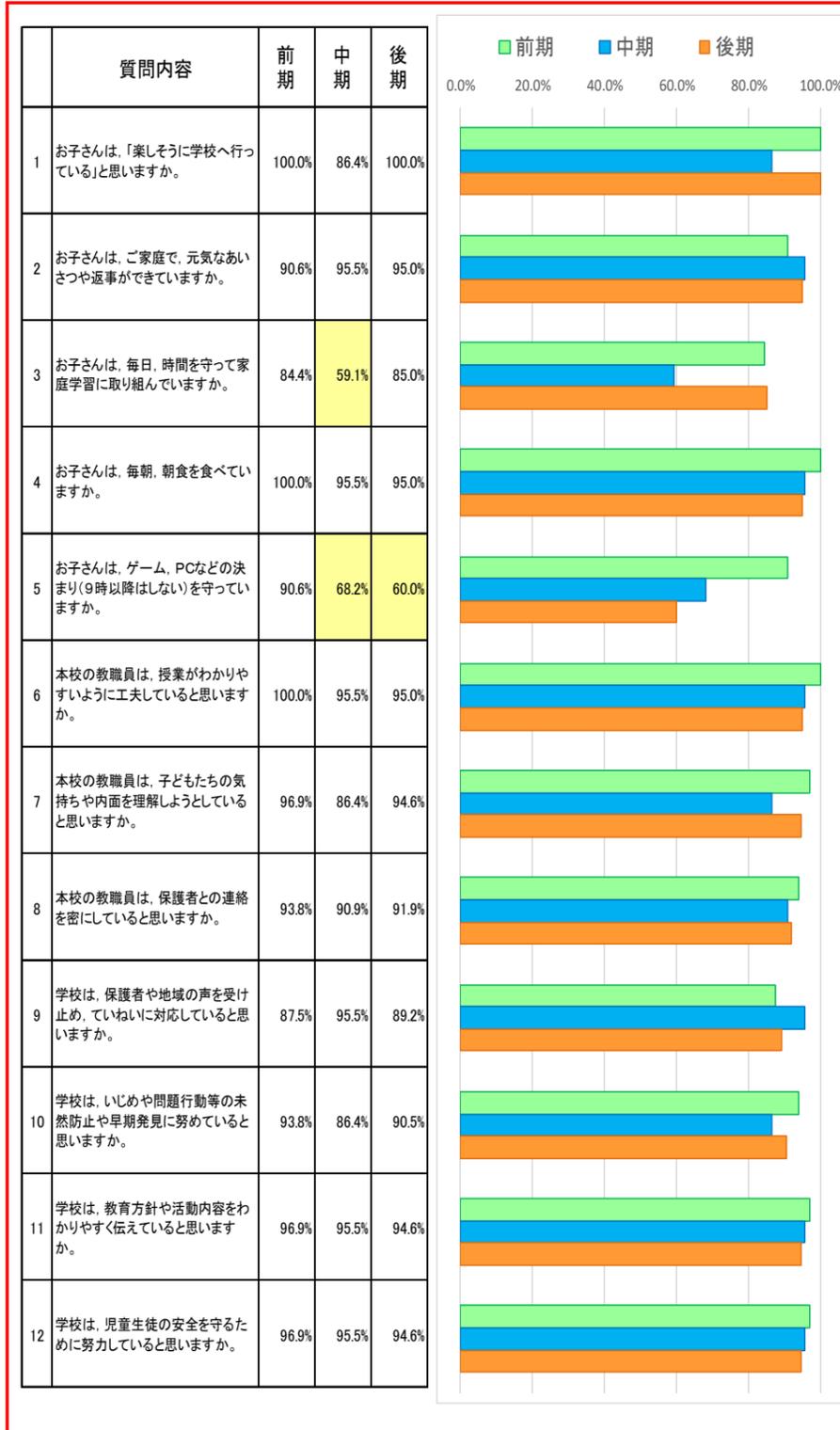
- ◇教師側がほめること重視の声かけにシフトしたこと、児童生徒が目的意識をもって落ち着いて生活ができるようになったことが良かったと考えています。
- ◇4～12月における教職員の勤務時間外の在校時間が、①月100時間を超過している教員が延べ3名、②4・5・6・10月以外で月80時間を超過している教員が延べ4名いました。さらに業務改善につとめ、働き方改革を推進していきたいと思ひます。



児童生徒アンケート結果



保護者アンケート結果



教職員アンケート結果



肯定的に回答(4または3を選択)した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のようにアンケート結果を評価しています。また、C評価と判定した項目(朱書き)については指導・改善を要する内容にとらえ、速やかに改善策を考え対応していきます。

- ☆児童生徒アンケート A(4または3が前期:95%, 中期:90%以上, 後期:90%以上) B(前期:80%, 中期:75%, 後期:70%以上) C(それ以下)
- ☆保護者アンケート A(4または3が90%以上) B(70%以上) C(それ以下)
- ☆教職員アンケート A(4または3が90%以上) B(70%以上) C(それ以下)